

## 記 録 まち並整備事業 広小路基本計画

●件 名	いいやま広小路会議（第 22 回）	●NO.	
●開催日時	平成 28 年 8 月 23 日（火）18:30～21:00	●場 所	第 1 委員会室
●出席者	別紙	●協議方式	<input checked="" type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他
●題 目	フリーディスカッション		

### ■今後の進め方について

バラバラの意見や想いを整理していくためのプログラムを開催  
主体性と創造性を高める話し合いへ

### ■問いかけ「なぜ広小路？」・・・意見を整理

#### ○目的の再確認

「歴史とロマンを感じ芸術性あふれる街へと再生」

①商業・事業の活性化 ②住民意識の活性化 ③地域外からの流入の活性化

#### ○目指したいところ

- ◆ 人が集まるまちとしての再生、住んでいる人が誇れる街
- ◆ 自らのお店の活性化
- ◆ 仲町の景観の向上
- ◆ 風景の作品づくり
- ◆ 商店主と来街者と住民の意識向上
- ◆ 線（点）から面へのつながり、各自のメリット向上へ

#### ○街の持つポテンシャル

- ◆ 広小路界隈が持つ場所のポテンシャル
- ◆ 過去と現在とのつながり かつてメインストリートとしての広小路・城下町・教会
- ◆ 周囲の施設との連携・バランス | 市民会館跡地活用・児童館・大手門（将来）
- ◆ 行政・住民・教会で取り組んでいる良さ、周辺施設（川や学校含む）とお店の持つ場所性

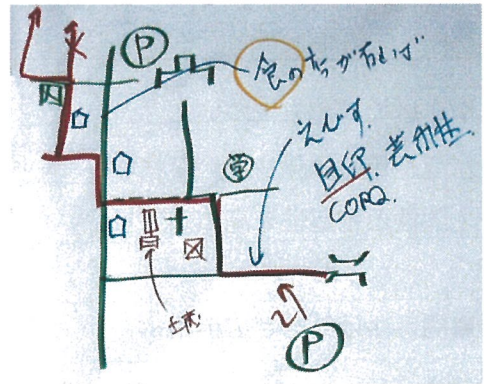
#### ○教会を現代に活かす

- ◆ 教会 | 84 年の歴史、素敵な建物、ライトアップで再認識
- ◆ 和の中に教会を中心とした異空間
- ◆ 教会の整備も手作り感
- ◆ 教会はパンフレットにも示されていない（PR 不足）
- ◆ 教会とまち | 希薄であったつながり、アプローチや花壇の整備で市民の目が向き始めた

- ◆ 常時開放していない教会、来街者が増えれば開放

○回遊を創造する

- ◆ 回遊性 | 飯山駅一本町（愛宕町）—人形館の流れに広小路を加える
- ◆ 人形館から広小路につながる古くからある道（図示）、この道に名称を（例えば教会通り）、通学路、良い雰囲気のある道
- ◆ 人形館来場者（20万人）あるのに人は歩かない、どう歩かせるか
- ◆ 道の途中に飲食の店などがあると回遊が高まる
- ◆ 若者（デザイン関係）空き店舗を活用する取り組み
- ◆ 蔵や官舎の活用、ソフトが決まらない
- ◆ 人形館和紙作家の展示は良かった



○広小路への参加者

- ◆ もう少し基本的な考えをまとめから新たな参加者を

コメント

- ◆ 広小路を活性化させるには、人形館などの来街者をいかに回遊させるか（現時点）の気付き。  
→広小路の整備だけでは回遊は生まれない（道の整備も同様）、回遊を基本的な考えに加え、広小路資源を含めた回遊の情報発信、沿道の誘導などもプロジェクト化
- ◆ 今回は参加者の想いを探るディスカッション→今後も主体的で創造的、意見が出しやすい会議となるように工夫

